



## 東 北 方 面

### 宮城縣若柳町新町の

#### 道路落成式

二ヶ年繼續事業とし一萬餘圓を投じて新設中であつた宮城縣若柳町新町區中央横斷路線の工事は、この程南北兩道共に美事に竣成を遂げたので、若柳町では九月五日盛大なる開通式を舉げた、土木課長代理、工

區主任、町長、町會議員、區議員其他有志臨席の下に神社社司、神官に依つて、崇嚴なる開式の御式が行はれ、佐竹老夫妻眞新

しき小砂利を踏んで先頭をなし參列者百數十名行列をなして之に従ひ、新道路の歩き初めの式を終へ、一同新町區會の若柳座に於ける協賛會の祝宴會に臨んだ、區會議長伊藤正二郎氏の挨拶に次ぎ町長、助役、町會議員總代三浦勘一氏の祝辭等あつて、愈々祝宴會に入り若柳花柳界紅裙連の手踊り其の他の餘興に歡興盡きるを知らぬ有様であつた。

### 石ノ卷町道路擴張計畫

宮城縣石ノ卷町道路計畫につき、先づ立町停車場道路の擴張案に關して前後數回に

耳り地主會議を開き協議中で、町でも一日の町會に協議題として附議し、次回の町會までに研究調査を遂げた上決定することになつたが、今日までの根本的案としては「立町道路の擴張すべき坪數は約二百十間坪數五千二百五十坪此買收見積額は坪百圓にして五萬二千五百圓となるが、地主の中には坪百五十圓から主張してゐる頑固な連中も少くないので、これには大いに閉口してゐる。而して此買收方法は半額を町で負擔し、半額を立町區民有志から寄附される豫定で、縣からの補助額といふのは僅かに地代位にしか當るまい」といふのである。これに穀町の約四十間もあるがこれは後廻しにして第一に立町道路の擴張を實施せんとするのであるが種々の持説か地主間に主張されてゐるので、容易に決定を見せうにならぬのだが、漸次諒解されて來て既に買收申込や其の他擴張案に對し好意を有して申込んでゐる向も數十件あるので、今後交渉の

重なるに従つて、解決も至難であるまい或は次回の町會までには大體町及縣の方針通りに纏まるではあるまいかと観測される

## 東 海 方 面

### 縣道豊橋金澤間擴張

愛知縣豊橋土木工區管内八名郡の沿道各村から豫て縣當局へ申請中の道縣豊橋本郷線改修問題が漸く喧しくなつて來たので縣奥谷技師は實地踏査を行つた、此の道路改修は豊橋市と八名郡金澤村間約七千二百間の延長に亘り現在幅員十尺を三間に擴張して自動車其他一般の交通を利便ならしめんとする計畫である。

### 小牧山地方の道路改修

愛知縣東春日井郡小牧町地方では今秋陸軍特別大演習が舉行せられるに付小牧味岡方面は特に道路大改修工事を行ひつゝある

## 地 方 通 信

が、現に工事に着手して居るのは名古屋犬山間街道の小牧町宇南外山内地内及外山西行堂間である其他味岡村大字本庄地内府縣道約二丁程の坂路並一般に道路狹隘の箇所等の大改修を開始した。

### 小牧山の開放問題

愛知縣春日井郡小牧町に於ける小牧山開放問題は稻田町長初め同町有力者等が發起となり徳川公へ願書を提出しその後各方面に亘り活動を續け小牧山開放の認可を得べく手續中であつたが、小牧山の重要記念樹木はさてなき、見通しの出来る程度に樹木を伐採する様通牒があつたので小牧山開放の爲め近々登山道路を開設する筈となつた

### 豊橋道路網今後は幹線計劃

豊橋市に於ては、此所數年來地元の人達が自發的に土地の開発を企とし、道路の敷地を無償提供する等の方法を以て其の擴張

や開發を各方面に行ひ、本年度から明年度に亘る改修計劃を併せると工費總額二百萬圓路線數二十以上に及び既に或る部分は今昔日の面影を一新して見違へるやうに立派になつてきた、尙市民の熱望に依り今後も繼續的に十數路線に亘り擴張改修の調査を進めつゝある様な次第で、市當局も市民の發奮に依り市の體面が先づ道路から着々整備して行くのを喜んで居るが、是等の諸道路は何れも幅員六間以内のもので一部小公園に開發された見本道路を除いては何れも將來都市計劃の補助路線を形成するものと見られ、隨つて都市計劃道路網の幹線となるべき道路が發表されぬ限りは道路に對する根本的の大方針も樹立し難い事情にあるので、今までの所は道路網の確立を前に控へて單に補助路線の充實完成を圖り根本

計畫のお膳立てをしたのに過ぎないけれど愈々近く其の決定を待つて大計劃が樹てられ其の根幹ともなるべき方面に向つては更

により以上に目覺しい擴築補修が斷行されるもの近い將來の問題となつて居る。

### 一 街路一種主義で

#### 街路樹の種目を揃へる

名古屋市では砂塵防止の目的で市街の綠化主義を採り市費並に沿道住民の寄附金で、市内廣小路大津町岩井町線等重なる道路にプラタナス、ホブラ、銀杏等を植えて来たのであるが、是等樹木の種類が雜多のため街路の美觀を害すると云ふので、其の種類を一街路一種主義とするの計劃を樹て昭和三年度に於て街路樹の大整理を行ふべく過日來道路課に於て調査中であるが、これによると大津町から東陽町に至る大津町通りはプラタナス、東陽町から熱田驛前までは小柳、廣小路通りは全部プラタナスを以て統一する筈である。尙前東新町から公園に至る道路の兩側には全部プラタナスを植える計劃である。

### 高豐村の道路愛護は

#### 見事なもの

愛知縣主催の道路愛護共進會出品道路の渥美郡高豐村に出掛け詳細に視察を遂げた豊橋土木區増田支所長は高豐村の共進會加入の區域は府縣道三ヶ所町村道が二ヶ所もあつて殊に春蠶の多忙期にある八九月中に於ける其の愛護状態はどうかと氣遣はれたけれど、青年會員等が率先して交通整理等もよく行届き、道路作業なども全く奉仕的に従事して居るので、道路面などは實に見は絶無で、見遣へるやうに立派に愛護されて居たのは喜ばしかつた、尙引續き各方面に亘つて巡回視察をするが、何處も此高豐村に遜色のないやうに完成されて、居たいものだといつたら希望して居る。

### 近畿方面

### 兵庫縣下道路改修の

#### 道路公債約三千萬圓

兵庫縣下の重要國府縣道約四百里の大改修を行ふために、積極政策を主張した現内閣の意嚮に依つて財源捻出はこれを一大起債に俟たうといふ計劃であるがその内容を聞くにまだ知事の肚がしつかり定まつてゐないらしく、従つて具體案は土木部で極秘に附してある、併し大體公債の募集額は三千萬圓償還期限は略二十五年とし、工事は昭和三年度から向ふ十五ヶ年の繼續事業とする案らしい、先般來神した丹羽内務省土道局道路課長の談によると未だ他府縣から道路公債募集を本省へ申請してゐるものはないさうであるが、本縣としては二十五年の年賦償還は至難の業とは思はれず、昨年愛知縣の如き四千七百餘萬圓の起債を縣會で決議してゐる例もあるので、本縣では可成り乘氣になり道路課では明年度豫算に既に二百餘萬圓明年度割の支出を見積もつて

あるといはれてゐる。

## 加西郡の道路改修

兵庫縣加西郡に於ける道路の改修に付ては三年度よりの事業として設計中であるがその改修道路は左の三線である。

姫路北條線——會田、賀茂村界から郡界に至る延長一、二五〇間幅員二間を三間に擴張し屈曲を更正するもので二ヶ年繼續事業芳田、西脇線——芳田村明樂寺から同村會山に至る延長一、〇〇〇間、幅員一間三分を二間半に擴張し屈曲と坂路を更正するもの姫路、社線——下里村奥猫から同村三四稻岡家附近に至る延長九〇〇間、幅員二間を二間半に擴張し屈曲を更正するもので二ヶ年繼續事業である。

## 中國方面

比婆郡に於ける秋季

道路愛護デー

地方通信

## 九州方面

久留米市の道路舗裝

廣島縣比婆郡に於ける本年度の秋季道路愛護デーは、例年の通り彼岸に入る二十一日郡内一齊に愛護作業を實施すべく各町村に於ては町村吏員、在郷軍人會、青年團等の幹部監督の下に、各戸一人以上出夫し在郷軍人、青年團員等も參加して各部署を定め道路修理をなし、又小學校に於いては當日兒童に對し道路愛護の訓話を行ひ上級兒童に對しては實施作業に就かしむる等、飽く迄道路愛護の普及徹底を期するに力め當日庄原土木出張所に於ても所員を派遣し庄原東城兩警務署管内警官と共に愛護作業の督勵及狀況調査を行つた爲に同日後は郡内各道路は路面整備し其の面目を一新した。

福岡縣久留米市三本松町から米屋細工今町繩手各町を経て京町久留米驛前に至る市幹線道路は舊態の儘で土質非常に悪く、降雨時は泥濘甚だしく殊に最近は自動車の激増により雨天の際は歩行に苦しむ程なので七月以來同市當局は各地元町民と共に之が改良に就き屢々協議した結果此程に至り側溝改良並に家屋の切斷、敷地の土地等及工事費の二分ノ一は地元にて負擔すること等決定したので右各町道路の舗裝施工法を明年度豫算に計上せられたき旨、九月十日船越市長から縣當局へ正式の陳情書を提出した、該道路の舗裝に關しては縣土木課でも明年度着工の心組で過般來實地視察を爲して攻究中であるが舗裝様式は苧扱川一丁目第一銀行角から三本松米屋細工町までをアスファルトブロックとし他は滲透式アスファルトとし明年五月着工十月竣成の豫定である。